

認定第9号

令和4年度芽室町公立芽室病院事業会計決算認定の件

地方公営企業法第30条第4項の規定により、令和4年度芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算を議会の認定に付するものであります。

令和5年9月1日提出

芽室町長 手 島 旭

令和4年度芽室町各事業会計歳入歳出決算審査意見書

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項の規定に基づき、令和5年6月1日審査に付された令和4年度芽室町各事業会計決算について審査した結果、次のとおりその意見を付します。

令和5年8月22日

芽室町監査委員 岩波 栄



芽室町監査委員 常通 直人



芽室町長 手島 旭 様

## 1 審査の対象

- (1) 令和4年度 芽室町下水道事業会計歳入歳出決算
- (2) 令和4年度 芽室町上水道事業会計歳入歳出決算
- (3) 令和4年度 芽室町公立芽室病院事業会計歳入歳出決算

## 2 審査の期間

令和5年6月28日から29日まで

## 3 審査の方法

令和4年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査に当たっては、審査に付された決算報告書、損益計算書、剰余金計算書、剰余金処分（欠損金処理）計算書、貸借対照表のほか決算附属書類としての事業報告書、キャッシュ・フロー計算書、決算明細書、固定資産明細書、企業債明細書と証書類、試算表、総勘定元帳等を照合点検し、計算の正確性、予算執行上の適否について審査し、かつ決算諸表が関係法令に準拠し作成されているか、経営内容及び財産管理の実態が適正確実に表示・保管され、請負契約・委託契約等が適正に取り交わされ契約のとおり実施されているか、さらに一般会計からの繰り入れが適正に処理されているか等について審査を実施いたしました。

## 4 決算の概要及び審査意見

令和4年度の芽室町下水道事業会計、芽室町上水道事業会計及び芽室町公立芽室病院事業会計決算審査の結果、決算報告書及び各財務諸表は地方公営企業法その他の関係法令に準拠し、計数は関係諸帳簿、証拠書類等に正確に記帳され、3事業の執行状況は適正なものと認めました。

なお、決算の概要は次のとおりです。

## 芽室町下水道事業会計

令和4年度における芽室町下水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

### 1 収益的収入及び支出

#### (1) 収益的収入（消費税を除く）

##### ・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
使用料	427,666,310	441,792,469	△ 14,126,159	96.8%
他会計負担金	28,369,000	27,755,000	614,000	102.2%
その他営業収益	272,000	238,000	34,000	114.3%
計	456,307,310	469,785,469	△ 13,478,159	97.1%

##### ・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
他会計補助金	40,914,000	44,276,000	△ 3,362,000	92.4%
他会計負担金	48,853,000	38,541,000	10,312,000	126.8%
長期前受金戻入	154,152,239	147,502,303	6,649,936	104.5%
雑収益	354,941	236,267	118,674	150.2%
計	244,274,180	230,555,570	13,718,610	106.0%

##### ・ 特別利益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
固定資産売却益	98,375	44,280	54,095	222.2%
計	98,375	44,280	54,095	222.2%

#### ※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(743,456,314)	(744,568,978)	(△ 1,112,664)	(99.9%)
	700,679,865	700,385,319	294,546	100.0%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比13,478,159円(2.9%)減の456,307,310円で、使用料減額の主な要因としては、コロナ渦の影響により大口使用者の使用量減少分が影響したためであります。

営業外収益は、13,718,610円(6.0%)増の244,274,180円、増額の主な要因としては、一般会計からの繰入れである他会計負担金の増額によるものであります。特別利益は、54,095円(122.2%)増の98,375円であります。

収益的収入合計では、前年度比294,546円増の700,679,865円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
管渠費	45,375,700	45,668,409	△ 292,709	99.4%
ポンプ場費	28,224,451	30,494,020	△ 2,269,569	92.6%
集落排水施設費	5,356,119	4,070,174	1,285,945	131.6%
個別排水処理施設費	62,869,000	62,069,091	799,909	101.3%
流域下水道事業負担金	114,678,909	100,316,545	14,362,364	114.3%
業務費	10,891,830	8,522,259	2,369,571	127.8%
総係費	21,791,209	21,023,226	767,983	103.7%
減価償却費	419,831,653	418,724,406	1,107,247	100.3%
資産減耗費	12,310,754	3,580,291	8,730,463	343.8%
計	721,329,625	694,468,421	26,861,204	103.9%

## ・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	25,810,029	30,480,720	△ 4,670,691	84.7%
雑支出	8,471,172	8,243,295	227,877	102.8%
計	34,281,201	38,724,015	△ 4,442,814	88.5%

## ・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	148,028	0	148,028	皆増
計	148,028	0	148,028	皆増

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(784,312,029)	(765,192,933)	(19,119,096)	(102.5%)
	755,758,854	733,192,436	22,566,418	103.1%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比26,861,204円(3.9%)増の721,329,625円で、増額の主な要因は、流域下水道事業負担金、業務費、資産減耗費が増加したためであります。

営業外費用は、前年度比4,442,814円(11.5%)減の34,281,201円で、収益的支出合計では、前年度比22,566,418円(3.1%)増の755,758,854円であります。

この結果、収益的収入合計700,679,865円、収益的支出合計755,758,854円で、当年度の純損失55,078,989円に前年度繰越欠損金46,366,738円を加えた当年度未処理欠損金は101,445,727円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
企業債	141,100,000	112,000,000	29,100,000	126.0%
出資金	117,371,000	110,545,000	6,826,000	106.2%
国庫補助金	27,852,550	60,208,500	△ 32,355,950	46.3%
受益者負担金	510,740	360,520	150,220	141.7%
受益者分担金	1,421,200	2,564,800	△ 1,143,600	55.4%
固定資産売却代金	125,000	0	125,000	皆増
その他資本的収入	196,000	49,000	147,000	400.0%
計	(288,588,990)	(285,727,820)	(2,861,170)	(101.0%)
	288,576,490	285,727,820	2,848,670	101.0%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
建設改良費	169,434,660	179,226,091	△ 9,791,431	94.5%
企業債償還金	205,352,702	203,984,681	1,368,021	100.7%
計	(391,730,817)	(401,133,373)	(△ 9,402,556)	(97.7%)
	374,787,362	383,210,772	△ 8,423,410	97.8%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額103,141,827円(消費税込み)は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額14,223,274円、過年度分損益勘定留保資金88,918,553円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債については、公共下水道事業の令和3年度末未償還残高は1,465,869,458円で、令和4年度に111,500,000円を借入れ、162,061,367円を償還したことから、令和4年度末未償還残高は1,415,308,091円。農業集落排水事業の令和3年度末未償還残高は83,334,166円で、令和4年度に11,900,000円を借入れ、2,795,245円を償還したことから、令和4年度末未償還残高は92,438,921円。個別排水処理施設事業の令和3年度末未償還残高は564,619,129円で、令和4年度に17,700,000円の借入れを行い、40,496,090円を償還したことから、令和4年度末未償還残高は541,823,039円となっています。

(3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 公共下水道整備費 104,956,500円  
第1汚水中継ポンプ場監視制御設備更新工事、  
第2汚水中継ポンプ場機械設備更新工事、  
公共樹新設工事（その1～13）、  
鉄南4丁目南仲通污水管新設工事
- ② 集落排水処理施設整備費 23,287,000円  
上美生集落排水施設建設（解体）工事、  
上美生集落排水施設建設（外構）工事、  
上美生集落排水施設門柱設置工事
- ③ 個別排水処理施設整備費 24,299,000円  
整備件数 9件（5人槽 5基、7人槽 4基）

3 予算執行状況

(1) 収益的収支

・収益的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
下水道事業収益	728,769,000	743,456,314	14,687,314	102.0%
営業収益	494,333,000	499,073,922	4,740,922	101.0%
営業外収益	234,328,000	244,274,180	9,946,180	104.2%
特別利益	108,000	108,212	212	100.2%

・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
下水道事業費用	792,111,000	784,312,029	7,798,971	99.0%
営業費用	754,580,000	746,812,418	7,767,582	99.0%
営業外費用	37,395,000	37,351,583	43,417	99.9%
特別損失	136,000	148,028	△ 12,028	108.8%
予備費	1,094,000	0	1,094,000	0.0%
計	793,205,000	784,312,029	8,892,971	98.9%

下水道事業収益は予算執行率が102.0%、下水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は99.0%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	増減額	執行率
資本的収入	289,721,000	288,588,990	1,133,000	990	100.0%
企業債	142,200,000	141,100,000	1,100,000	0	100.0%
出資金	117,371,000	117,371,000		0	100.0%
国庫補助金	27,853,000	27,852,550		△ 450	100.0%
受益者負担金	510,000	510,740		740	100.1%
受益者分担金	1,421,000	1,421,200		200	100.0%
固定資産売却代金	137,000	137,500		500	100.4%
その他資本的収入	229,000	196,000	33,000	0	100.0%

・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	翌年度繰越額	不用額	執行率
資本的支出	392,969,250	391,730,817	1,223,000	15,433	100.0%
建設改良費	187,614,250	186,378,115	1,223,000	13,135	100.0%
企業債償還金	205,355,000	205,352,702	0	2,298	100.0%

資本的収入の予算執行率は100.0%、資本的支出の予算執行率は100.0%であります

4 未収状況及び不納欠損額

(1) 公共下水道使用料

（単位：円）

区分	令和4年度	令和3年度	増減	前年度比
現年度	58,637,919	61,306,518	△ 2,668,599	95.6%
過年度	2,236,198	2,144,333	91,865	104.3%
計	60,874,117	63,450,851	△ 2,576,734	95.9%
不納欠損額	69,760	41,429	28,331	168.4%

(2) 集落排水施設使用料

（単位：円）

区分	令和4年度	令和3年度	増減	前年度比
現年度	157,151	162,465	△ 5,314	96.7%
過年度	0	0	0	—
計	157,151	162,465	△ 5,314	96.7%
不納欠損額	0	0	0	—

### (3) 個別排水処理施設使用料

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
現 年 度	3,955,029	3,952,254	2,775	100.1%
過 年 度	168,405	89,551	78,854	188.1%
計	4,123,434	4,041,805	81,629	102.0%
不納欠損額	0	0	0	—

公共下水道使用料の現年度分収納率は86.2%（前年度85.5%）、過年度分収納率は96.4%（前年度96.6%）で、未収額は60,874,117円となっており、前年度と比較し2,576,734円減少しています。

また、不納欠損額は、前年度の42件41,429円に対し、令和4年度は36件69,760円で28,331円の増であります。

集落排水施設使用料の現年度分収納率は90.9%（前年度比同率）、過年度分収納率は100.0%（前年度比同率）で、未収額は157,151円となっており、前年度と比較し5,314円減少しています。

個別排水処理施設使用料の現年度分収納率は91.1%（前年度90.9%）、過年度分収納率は95.3%（前年度97.8%）で、未収額は4,123,434円となっており、前年度と比較し81,629円増加しています。

以上、芽室町下水道事業は、公共下水道事業・農業集落排水事業・個別排水処理事業の3事業があり、令和2年度から3事業を1つの会計に統合し、地方公営企業法を適用させた公営企業会計に移行しております。令和4年度の主な整備事業として、公共下水道事業では汚水中継ポンプ場の監視制御設備や機械設備の更新工事、農業集落排水事業では上美生集落排水施設の解体と外構整備工事、個別排水処理事業では個別排水処理施設整備工事を行い、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインの整備を図っています。

併せて、各下水道施設を適切に維持していくために財政状況を整理し、地方公営企業として安定した経営を目指すとともに、下水道事業に対する町民の理解により、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、将来にわたり快適で安全安心な生活環境の提供が可能となるよう、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を期待するものであります。

## 芽室町上水道事業会計

令和4年度における芽室町上水道事業会計の決算状況は次のとおりです。

### 1 収益的収入及び支出

#### (1) 収益的収入（消費税を除く）

##### ・ 営業収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
給水収益	329,108,905	396,380,854	△ 67,271,949	83.0%
他会計補助金	61,769,695	0	61,769,695	皆増
その他営業収益	15,533,052	10,385,697	5,147,355	149.6%
計	406,411,652	406,766,551	△ 354,899	99.9%

##### ・ 営業外収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
他会計補助金	1,686,550	1,100,800	585,750	153.2%
長期前受金戻入	89,668,042	91,463,922	△ 1,795,880	98.0%
雑収益	10,084,501	7,713,214	2,371,287	130.7%
計	101,439,093	100,277,936	1,161,157	101.2%

##### ・ 特別利益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
固定資産売却益	47,791	0	47,791	皆増
その他特別利益	64,655	0	64,655	皆増
計	112,446	0	112,446	皆増

#### ※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(543,391,544)	(548,440,589)	(△ 5,049,045)	(99.1%)
	507,963,191	507,044,487	918,704	100.2%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業収益は、前年度比354,899円(0.1%)減の406,411,652円で、そのうち給水収益は67,271,949円(17.0%)の減であり、物価高騰対策に係る基本料金の減免が影響しています。

営業外収益は、1,161,157円(1.2%)増の101,439,093円で、増額の主な要因としては、雑収益の増加によるものであります。

収益的収入合計では、前年度比918,704円(0.2%)増の507,963,191円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 営業費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
原水及び浄水費	120,435,180	119,354,026	1,081,154	100.9%
配水及び給水費	15,925,773	17,310,500	△ 1,384,727	92.0%
業務費	14,755,530	14,370,844	384,686	102.7%
総係費	23,853,208	23,255,364	597,844	102.6%
減価償却費	239,956,219	244,426,292	△ 4,470,073	98.2%
資産減耗費	2,286,327	3,026,152	△ 739,825	75.6%
計	417,212,237	421,743,178	△ 4,530,941	98.9%

## ・ 営業外費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	19,751,075	23,612,693	△ 3,861,618	83.6%
雑支出	4,192,905	2,620	4,190,285	160034.5%
計	23,943,980	23,615,313	328,667	101.4%

## ・ 特別損失

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
固定資産売却損	93,360	107,515	△ 14,155	86.8%
計	93,360	107,515	△ 14,155	86.8%

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(465,825,514)	(477,804,096)	(△ 11,978,582)	(97.5%)
	441,249,577	445,466,006	△ 4,216,429	99.1%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

営業費用は、前年度比4,530,941円(1.1%)減の417,212,237円で、減額の主な要因は、配水及び給水費、減価償却費が減少したためであります。

営業外費用は、前年度比328,667円(1.4%)増の23,943,980円で、特別損失93,360円を加えると、収益的支出合計では、前年度比4,216,429円(0.9%)減の441,249,577円であります。この結果、収益的収入合計507,963,191円、収益的支出合計441,249,577円で、当年度の純利益は66,713,614円であります。

純利益に前年度繰越利益剰余金255,288,717円、その他の未処分利益剰余金変動額34,668,187円を加えた当年度未処分利益剰余金は、356,670,518円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
企業債	80,500,000	67,400,000	13,100,000	119.4%
固定資産売却代金	1,385,632	1,390,900	△ 5,268	99.6%
他会計負担金	1,085,700	0	1,085,700	皆増
計	(83,101,769) 82,971,332	(68,929,990) 68,790,900	(14,171,779) 14,180,432	(120.6%) 120.6%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
配水本管整備費	38,560,000	30,390,000	8,170,000	126.9%
給水設備費	36,518,700	30,589,200	5,929,500	119.4%
第6期拡張事業費	35,736,837	30,991,828	4,745,009	115.3%
企業債償還金	162,380,963	167,476,581	△ 5,095,618	97.0%
計	(284,278,053) 273,196,500	(268,644,711) 259,447,609	(15,633,342) 13,748,891	(105.8%) 105.3%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入が資本的支出に対して、不足する額201,176,284円（消費税込み）は、当年度分損益勘定留保資金152,574,504円と当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,852,416円並びに繰越利益剰余金処分額37,749,364円で補てんし、資金収支の均衡が図られています。

企業債の令和3年度末未償還残高は1,564,900,352円で、令和4年度に80,500,000円を借入れ、162,380,963円を償還したことから、令和4年度末未償還残高は1,483,019,389円となっています。

### (3) 建設改良工事の概要（消費税込み）

- ① 第6期拡張事業 39,226,000円  
芽室浄水場変換器盤更新工事
- ② 配水本管整備事業 42,416,000円  
鉄南4丁目南仲通配水管新設工事 工事延長合計 145.80m  
芽室西26号通配水管布設換工事 工事延長合計 423.80m
- ③ 検満量水器取替工事（1～4工区） 合計993台 18,716,500円
- ④ 量水器の購入 17,164,070円  
新設用量水器 165台、検満取替用量水器 993台 合計 1,158台

### 3 予算執行状況

#### (1) 収益的収支

##### ・収益的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
水道事業収益	533,931,000	543,391,544	9,460,544	101.8%
営業収益	432,363,000	440,828,541	8,465,541	102.0%
営業外収益	101,450,000	102,444,092	994,092	101.0%
特別利益	118,000	118,911	911	100.8%

##### ・収益的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
水道事業費用	482,133,000	465,825,514	16,307,486	96.6%
営業費用	437,960,000	432,354,263	5,605,737	98.7%
営業外費用	43,387,000	33,377,891	10,009,109	76.9%
特別損失	786,000	93,360	692,640	11.9%
予備費	51,798,000	0	51,798,000	0.0%
計	533,931,000	465,825,514	68,105,486	87.2%

水道事業収益は予算執行率が101.8%、水道事業費用の予備費を除いた予算執行率は96.6%であり、予算の執行状況は概ね適正であると認めます。

#### (2) 資本的収支

##### ・資本的収入（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	82,327,000	83,101,769	774,769	100.9%
企業債	80,500,000	80,500,000	0	100.0%
固定資産売却代金	741,000	1,516,069	775,069	204.6%
他会計負担金	1,086,000	1,085,700	△ 300	100.0%

##### ・資本的支出（消費税込み）

（単位：円）

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	284,281,000	284,278,053	2,947	100.0%
建設改良費	121,900,000	121,897,090	2,910	100.0%
企業債償還金	162,381,000	162,380,963	37	100.0%

資本的収入の予算執行率は100.9%、資本的支出の予算執行率は100.0%であります。

#### 4 水道使用料の未収状況及び不納欠損額

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
現 年 度	5,783,805	6,188,845	△ 405,040	93.5%
過 年 度	3,801,834	3,578,836	222,998	106.2%
計	9,585,639	9,767,681	△ 182,042	98.1%
不納欠損額	236,151	106,795	129,356	221.1%

水道使用料の現年度分収納率は98.4%（前年度98.6%）、過年度分収納率は58.9%（前年度62.4%）で、未収額は9,585,639円となっており、前年度と比較し182,042円減少しています。

また、不納欠損額は、前年度の54件106,795円に対し、令和4年度は65件236,151円で129,356円の増であります。

以上、令和4年度芽室町上水道事業会計の決算状況を申し上げますが、上水道事業は、地方公営企業の目的である公共の福祉増進と経済性に主眼を置いて事業経営を行っており、令和4年度は配水管布設換工事を計画的に進め、健康で快適な町民の生活を支える重要なライフラインとしての整備維持を図っています。

さらに、第6期拡張事業として芽室浄水場の変換器盤等を更新し、施設の安全管理に取り組んでいるところであります。

また、施設の維持管理においては、漏水の早期発見・早期修繕による有収率の向上により、経営の健全化、効率化を図り、経費の縮減に努められることを確認しました。

併せて、水道事業に対する町民の理解により、水道使用料は受益者負担と公平性確保の点からも、不納欠損が発生しないよう一層の収納率の向上に努め、地方公営企業として経済性を発揮するとともに、公共の福祉増進のため、安全・安心な生活用水の確保と水道サービスの向上を期待するものであります。

芽室町公立芽室病院事業会計

令和4年度における芽室町公立芽室病院事業会計の決算状況は次のとおりです。

1 収益的収入及び支出

(1) 収益的収入 (消費税を除く)

・ 医業収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
入院収益	812,806,194	630,993,554	181,812,640	128.8%
外来収益	598,273,170	506,998,607	91,274,563	118.0%
その他医業収益	206,888,413	222,704,420	△ 15,816,007	92.9%
計	1,617,967,777	1,360,696,581	257,271,196	118.9%

・ 医業外収益

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
他会計負担金	98,516,000	85,274,000	13,242,000	115.5%
他会計補助金	243,053,000	241,517,000	1,536,000	100.6%
患者外給食収益	1,434,194	1,083,285	350,909	132.4%
長期前受金戻入	84,931,848	75,013,066	9,918,782	113.2%
その他医業外収益	686,348,512	511,243,866	175,104,646	134.3%
計	1,114,283,554	914,131,217	200,152,337	121.9%

※ 収益的収入合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的収入合計	(2,744,132,728)	(2,288,428,926)	(455,703,802)	119.9%
	2,732,251,331	2,274,827,798	457,423,533	120.1%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

収益的収入の医業収益のうち入院収益は、前年度比181,812,640円(28.8%)増の812,806,194円、外来収益は、前年度比91,274,563円(18.0%)増の598,273,170円で、年度を通して病床の高稼働が続いたことと、新型コロナウイルス感染症のPCR検査や発熱患者への対応など、入院・外来収益が共に大きく伸びました。医業外収益は前年度比200,152,337円(21.9%)増の1,114,283,554円であります。

収益的収入合計では、前年度比457,423,533円(20.1%)増の2,732,251,331円であります。

## (2) 収益的支出 (消費税を除く)

## ・ 医業費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
給与費	1,485,989,279	1,357,036,007	128,953,272	109.5%
材料費	206,277,783	172,516,251	33,761,532	119.6%
経 費	329,951,300	382,891,981	△ 52,940,681	86.2%
減価償却費	116,301,534	116,812,309	△ 510,775	99.6%
資産減耗費	7,333,712	4,597,023	2,736,689	159.5%
研究研修費	3,905,175	2,084,334	1,820,841	187.4%
計	2,149,758,783	2,035,937,905	113,820,878	105.6%

## ・ 医業外費用

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
支払利息及び 企業債取扱諸費	5,006,596	5,558,582	△ 551,986	90.1%
患者外給食材料費	2,200,408	1,826,569	373,839	120.5%
雑損失	49,099,072	45,621,581	3,477,491	107.6%
運営委員会費	86,769	138,796	△ 52,027	62.5%
その他医業外費用	0	276,652	△ 276,652	皆減
計	56,392,845	53,422,180	2,970,665	105.6%

## ※ 収益的支出合計

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
収益的支出合計	(2,196,069,863)	(2,086,592,239)	(109,477,624)	105.2%
	2,206,151,628	2,089,360,085	116,791,543	105.6%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

収益的支出の医業費用は、総合診療科医師の増員や医事業務委託の直営化を図ったことから人件費が増加しています。経費では原材料価格や光熱費の高騰による影響が大きいものの、医業事務や経営コンサルタントの契約終了により全体では減少しています。前年度比113,820,878円(5.6%)増の2,149,758,783円。医業外費用は、前年度比2,970,665円(5.6%)増の56,392,845円で、収益的支出合計では、116,791,543円(5.6%)増の2,206,151,628円となり、当年度の純利益は526,099,703円であります。

この結果、前年度繰越欠損金500,328,943円に、当年度純利益526,099,703円を加えた当年度未処分剰余金は25,770,760円であります。

## 2 資本的収入及び支出

### (1) 資本的収入

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
企業債	140,000,000	0	140,000,000	皆増
出資金	54,101,000	71,081,000	△ 16,980,000	76.1%
繰入金	44,125,000	0	44,125,000	皆増
固定資産売却代金	0	725,626	△ 725,626	皆減
補助金	74,458,000	25,705,000	48,753,000	289.7%
他会計補助金	21,555,000	32,241,000	△ 10,686,000	66.9%
寄附金	5,287,715	9,500,501	△ 4,212,786	55.7%
計	(339,526,715)	(139,325,689)	(200,201,026)	243.7%
	339,526,715	139,253,127	200,273,588	243.8%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

### (2) 資本的支出

(単位：円)

区 分	令和4年度	令和3年度	増 減	前年度比
有形固定資産購入費	281,135,478	96,396,794	184,738,684	291.6%
施設費	51,558,881	40,955,614	10,603,267	125.9%
企業債償還金	45,560,190	53,395,182	△ 7,834,992	85.3%
計	(380,229,844)	(191,882,432)	(188,347,412)	198.2%
	378,254,549	190,747,590	187,506,959	198.3%

※ ( ) 内は、消費税込みの数値です。

資本的収入は、企業債（電子カルテ更新）として140,000,000円、一般会計から出資金54,101,000円と繰入金44,125,000円、道補助金として新型コロナウイルス感染症患者等入院受入医療機関及び重点医療機関等設備整備事業補助金として74,395,000円を受入れました。

また、資本的支出においては、多用途透析装置、人工呼吸器、CT装置、電子カルテシステム等の器械及び備品の購入、また、院内トイレ等改修工事、企業債元金償還等を行っています。

## 3 予算執行状況

### (1) 収益的収支

#### ・収益的収入（消費税込み）

(単位：円)

項 目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
病院事業収益	2,721,912,000	2,744,132,728	22,220,728	100.8%
医業収益	1,609,045,000	1,628,711,026	19,666,026	101.2%
医業外収益	1,112,867,000	1,115,421,702	2,554,702	100.2%

・収益的支出（消費税込み） (単位：円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
病院事業費用	2,262,134,000	2,196,069,863	66,064,137	97.1%
医業費用	2,245,076,000	2,180,210,412	64,865,588	97.1%
医業外費用	15,850,000	15,859,451	△ 9,451	100.1%
予備費	1,208,000	0	1,208,000	0.0%

病院事業収益の予算額に対する執行率は100.8%で医業収益は1,960万円、医業外収益では250万円の増額、また、病院事業費用は予算執行率が97.1%で、不用額の主なものは医業費用の給与費、経費及び研究研修費であります。

(2) 資本的収支

・資本的収入（消費税込み） (単位：円)

項目	現計予算額	決算額	増減額	執行率
資本的収入	339,766,000	339,526,715	△ 239,285	99.9%
企業債	140,000,000	140,000,000	0	100.0%
出資金	54,192,000	54,101,000	△ 91,000	99.8%
繰入金	44,125,000	44,125,000	0	100.0%
補助金	74,458,000	74,458,000	0	100.0%
他会計補助金	21,703,000	21,555,000	△ 148,000	99.3%
寄附金	5,288,000	5,287,715	△ 285	100.0%

・資本的支出（消費税込み） (単位：円)

項目	現計予算額	決算額	不用額	執行率
資本的支出	382,504,000	380,229,844	2,274,156	99.4%
建設改良費	336,943,000	334,669,654	2,273,346	99.3%
企業債償還金	45,561,000	45,560,190	810	100.0%

資本的収入の予算執行率は99.9%、資本的支出の予算執行率は99.4%で、いずれも現計予算に基づく適切な執行がされています。

4 企業債の状況

(1) 企業債 (単位：円)

前年度末繰越残高	令和4年度中		次年度以降繰越額
	借入額	償還額	
348,749,475	140,000,000	45,560,190	443,189,285

電子カルテ更新のため、新規の借り入れが1件ありました。

## 5 業務量

### (1) 入院収益

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
病床利用率	76.9%	64.8%	71.1%	76.8%
1日平均入院患者	82.3人	69.4人	76.1人	82.2人
1人1日当たり収入	27,065円	24,924円	25,641円	27,277円

### (2) 外来収益

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
1日平均外来患者	258.8人	229.8人	211.0人	259.3人
1人1日当たり収入	9,613円	9,218円	8,999円	8,063円

業務量では、入院における病床利用率は76.9%と前年度比12.1ポイント増となっており、入院患者数は1日当たり82.3人で前年度比12.9人の増、1人1日当たりの収入は27,065円で前年度比2,141円の増であります。

外来患者は1日当たり258.8人で前年度比29人の増、1人1日当たり外来収入は9,613円で前年度比395円の増であります。

業務量の基準となる患者数は新型コロナウイルス感染症による影響を抜けて、入院患者・外来患者ともに令和元年度の水準まで回復した結果となりました。

## 6 職員数

各年度末職員数

(単位：人)

項目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
医師	11	8	9	10
看護師	66	65	64	61
准看護師	1	1	2	2
医療技術者	25	24	24	21
事務職員	11	11	12	12
その他職員	2	3	3	2
計	116	112	114	108

年度当初、医師は10人体制で診療を開始し年度途中で1名が加わりました。

新型コロナウイルス感染症の経験を踏まえ感染予防を徹底し、診療を停止することなく医療サービスの提供を続けました。

以上、令和4年度公立芽室病院事業会計の決算状況を申し上げますが、本業の経営成績を示す医業収支は、医業収益1,617,967,777円に対し、医業費用は2,149,758,783円で、531,791,006円の損失となり、これに、医業外収益1,114,283,554円を加え医業外費用56,392,845円を除いた収益的収支では526,099,703円の純利益となりました。

要因として医業収支では、新型コロナウイルス感染症患者病床の確保に伴う補助金を受け、入院収益では病床の高稼働を継続、外来収益では総合診療科医師の体制強化に伴う患者数の増加が図られ、3年連続の黒字決算となりました。

医師や看護師を始めとする医療技術スタッフの確保は、診療体制の確保・強化、経営改善に向けての最優先課題であり、特に、医師確保の取り組みにより今年度の診療体制の充実を図ったことは高く評価されているところであります。

町内で唯一の入院機能を持つ医療機関として、回復期病院としての機能強化に加え、慢性期病院としての機能を充実させ、良質な医療を提供するとともに、経営安定化を目指し、地域住民から信頼される病院づくりに努めています。

公立芽室病院が「かかりつけ病院」としての機能充実に加え、地域包括ケアシステムにおける中核施設として住民の健康と生命を守るため、安定的かつ継続的な安心と地域で必要とされる医療の提供を期待するものであります。

加えて、公的な役割として民間医療機関では担い難く、採算性の確保が難しい分野の医療を担う使命を持っており、良質な医療を継続して提供していくためにも、経営の効率化による医療提供体制の確保に向けた様々な取り組みの継続を望むものであります。